

# 日本代表選手・役員の心得

公益財団法人日本体操協会

## 趣旨

「体操ニッポン」という称号は、先人たちの卓越した競技成績と品位ある行動によって築かれた、誇り高き伝統である。

日本代表選手および役員は、その誇りと伝統を継承し、日本体操協会(以下「本会」という)の「理念・使命・行動規範」を理解し、その精神を体現する存在でなければならない。

対象は、日本代表選手、ナショナルおよびジュニアを含む強化指定選手、監督、コーチ、トレーナー、審判員、帯同スタッフ、その他本会が指定する者とする。

## 1 理念と使命の理解

- 1) 日本代表としての自覚を持ち、法令・社会規範および本会の規程を遵守する。
- 2) ドーピング、ハラスメント、賭博、薬物乱用、暴力、反社会的勢力との関係を一切排除する。
- 3) 公私にわたり誠実に行動し、協会および競技の名誉を守る。

## 2 公正な行動

- 1) 本会やJOC、大会組織委員会等から支給されたユニフォーム・支給品は適切に管理・使用し、本会の許可なく転売や不正使用を行わない。
- 2) メディア対応・SNS発信・イベント参加等は定められたガイドラインに従う。
- 3) 金銭・物品・情報の取り扱いにおいて不正を行わず、公正な判断を貫く。

## 3 敬意と感謝

- 1) 国旗掲揚時には起立し、脱帽の上、国旗に対して敬意を表す。
- 2) 仲間、スタッフ、審判員、関係者等に敬意を払い、調和を大切にする。
- 3) 支援者、ファン、地域社会への感謝を忘れず、普及・発展活動に積極的に貢献する。

## 4 節度と品位

- 1) 公私にわたり節度を保ち、代表としてふさわしい生活態度を心がける。
- 2) 合宿や大会等では、集合時間および門限を遵守し、秩序ある行動をとる。
- 3) 身だしなみやユニフォームの着用に留意し、品位を保持する。
- 4) 飲酒は、合宿所や競技会場等では慎み、監督の許可のもとで節度を持つ。

## 5 学びと啓発

- 1) コンプライアンス、インテグリティ、アンチ・ドーピング、メディアリテラシー等の教育を定期的に受講し、理解を深める。
- 2) 所属先責任者にも本心得の趣旨を周知し、協力体制を構築する。
- 3) 環境保全(受動喫煙防止・廃棄物削減など)に配慮し、次世代の体操環境を守る。

## 6 挑戦と成長

- 1) 向上心を持ち、挑戦と学びを通じて競技力と人間力の成長を追求する。
- 2) 大会やイベントでは、最高のパフォーマンスを発揮できるよう最善を尽くす。

## 7 国際理解と安全管理

- 1) 海外遠征では現地の文化・慣習・法令を尊重し、国際的なルールやマナーに従う。
- 2) 主催団体・大会関係者への敬意を忘れず、協力を惜しまない。
- 3) 海外での移動・行動は安全を第一とし、複数人での行動を原則とする。
- 4) 合宿・大会・移動等においては、担当者・監督・帯同スタッフの指示に従い、行動計画を事前に共有する。
- 5) 緊急時には、速やかに監督または帯同スタッフへ連絡し、独断で行動しない。
- 6) 安全面・健康面で異常を感じた場合は、速やかに報告・相談を行い、適切な対応を受ける。

## 8 違反と措置

本心得および関連するガイドラインに違反、または社会通念上不適切と判断される行為を行った場合は、本会倫理規程等に基づき、適正な手続きを経て適切な措置を講じる。

## 9 附則

本心得は、本会の「理念・使命・行動規範」に基づき制定する。

令和7年12月19日 制定

令和7年12月20日 施行